

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	配慮を必要とする家庭への支援／障害のある子どもの療育体制の充					
(2)	総合計画の体系	第 3 章	健康で安心して暮らせるまちづくり				
		第 1 節	すべての子どもが健やかに育つまちづくり				
		第 32 細節	配慮を必要とする家庭への支援／障害のある子どもの療育体制の充				
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		765,286	936,724	1,044,980	
		従事職員数		48.90 人	51.00 人	55.10 人	
		所要人件費(B)		388,611	425,955	450,167	
		総事業費(A+B)		1,153,897	1,362,679	1,495,147	
		財源内訳	収入	国庫支出金	297,059	384,835	420,053
				府支出金	147,846	193,462	215,027
				その他	166,914	11,354	14,237
		市負担	地方債	地方債	0	0	0
				その他	0	20	137
一般財源	542,078			773,008	845,693		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	療育・保育に関する市施設での障がい児受け入れ数(杉の子学園・わかたけ園)各年度末在籍数	目標値 (単位:人)	100.00	100.00	110.00
		実績値 (単位:人)	106.00	108.00	/
		達成度(%)	106.0	108.0	
目標値の積算方法	定数				
指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
		実績値 (単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)	0.0	0.0	
目標値の積算方法					

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

障がいのある子どもとその保護者へのより適切な療育を図るため、各機関の連携による療育システムの充実、地域との連携の推進が必要である。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	児童発達支援事業	こども発達支援センター地域支援センター	00320	全部	大	20	18	20	18	18	94	拡充
2	地域療育事業	こども発達支援センター地域支援センター	00325	全部	大	20	14	18	18	18	88	拡充
3	相談支援事業	こども発達支援センター地域支援センター	00323	なし	大	20	18	18	18	18	92	拡充
4	1歳6か月児健康診査事後指導事業	こども発達支援センター地域支援センター	00262	全部	大	18	20	16	18	16	88	拡充
5	児童福祉サービス給付事業	こども発達支援センター地域支援センター	00321	なし	大	20	18	20	18	14	90	継続
6	通園療育支援事業	こども発達支援センター地域支援センター	00324	全部	中	16	20	20	18	16	90	拡充
7	安全対策事業(こども発達支援センター)	こども発達支援センター地域支援センター	00322	全部	中	14	18	14	18	18	82	継続
8	保育所等訪問支援事業	こども発達支援センター地域支援センター	01427	なし	中	16	12	14	18	14	74	継続
9	療育システム推進事業	こども発達支援センター地域支援センター	01293			0	0	0	0	0	0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		児童発達支援事業は、児童福祉法に定める事業であり、利用人員も多く、わかたけ園の移転整備に伴い事業の拡充を要するため上位とした。地域療育事業は法定事業ではないが訓練・相談の需要が多いため次点とした。その他については、療育の推進にあたって、より重要性が高いもの・利用者の多いものを上位とした。										